



プレスリリース
2005年1月6日

リバティ・アライアンス、 新プレジデントに Intel のジョージ・グッドマンが就任

新ボード・メンバー16社で新体制発足、連携アイデンティティ管理を推進

世界から150以上の企業・団体が参加するアイデンティティ管理と連携サービス技術の標準化団体リバティ・アライアンス・プロジェクト(Liberty Alliance Project)は本日、マネジメント・ボードの新プレジデントに Intel の Visualization and Trust Lab ディレクターであるジョージ・グッドマン(George Goodman)が就任したと発表しました。グッドマンは Intel が2004年3月にリバティ・アライアンスに加盟して以来、マネジメント・ボードのメンバーを務めています。

グッドマンは「Intel はリバティ・アライアンスの連携アイデンティティ管理ソリューションを強固なものとしクライアントのプラットフォームに広めたいと考えてリバティに加盟しましたが、2004年にそうした目標を着実に達成しました。リバティ・アライアンスは、仕様策定のプロセスをオープンにしている唯一の団体です。リバティの今後の課題は、アイデンティティのインフラを強化するため、既存の他の規格をどのようにサポートし、プロモートし、そうした規格と協力していくかを検討することです。2005年は規格を収束する年と考えています」と述べています。

リバティの加盟企業が世界的に増えていることから、リバティ規格の採用と同規格への収束が促進されています。また、リバティのマネジメント・ボードのメンバーは様々な分野の代表で構成されており、アイデンティティに関する問題がビジネス、ポリシー、テクノロジーの広い分野で扱われています。

2005年のマネジメント・ボードは以下の16社で構成されています。American Express、AOL、Ericsson、Fidelity Investments、France Telecom、General Motors、HP、IBM、Intel、Nokia、Novell、Oracle、RSA Security、Sun Microsystems、VeriSign、Vodafone Group。なお、Oracle と RSA Security は新しいボード・メンバーです。

2005年も、リバティは信頼とアイデンティティ保証の分野を中心に、ビジネスやポリシー上の問題の定義と解決の作業を継続します。こうした作業の成果は、ビジネス・ガイドライン、ポリシー・フレームワーク、ベスト・プラクティス、ホワイトペーパーといった形で提供されます。更に、連携アイデンティティ管理のケース・スタディに、複数の業界を代表するグローバルなエンドユーザーが参加します。リバティが2003年にWebサービス仕様を発表して以来、数社の加盟企業がこの仕様をプロジェクト・ベースで実装しており、Webサービスのケース・スタディならびにWebサービスに関連した他の実績の報告も2005年に可能になる見通しです。

グッドマンは「リバティは、アイデンティティに関わるビジネス、ポリシー、テクノロジー上の問題に具体的かつ確実な方法で継続して取り組める場となっています。大手銀行、非営利団体、エンドユーザー、モバイル・プロバイダ、ハイテク企業などが加盟しており、複数の視点からの解決が必要な問題を把握し、対処できるユニークな組織です。技術の最前線にある組織であれば皆認識していることですが、経験こそは偉大な教師です。リバティの会員企業はオープン・スタンダードに基づく連携アイデンティティ管理ソリューションを世界中で展開しています。これらの企業は最初にアイデンティティ管理に取り組んだという明瞭な事実により、今日のアイデンティティ管理の多くの課題に答えるのに適しているというユニークな立場にあります」と述べています。

グッドマンは、Intel では Corporate Technology Group の Platform Virtualization Lab のディレクターとして、Intel のコンピューティング・プラットフォームの価値を増大、向上させるための技術の探求と定義づけを担当しています。ユーザーがより柔軟で、高機能で、信頼できるコンピューティング環境を経験できるように、Intel プラットフォーム向けのソフトウェア、ハードウェアの「アイデンティティ」管理をサポートする方法を見出すことも彼の仕事です。

プレジデントの任期は1年で、グッドマンは American Express のインターネット戦略担当ヴァイス・プレジデント、マイケル・バレット(Michael Barrett)の後任となります。バレットはリバティのマネジメント・ボードのメンバーとして留まり、Nokia の Technology Platform 部門のシニア・マネージャーであるティモ・スキッタ(Timo Skytta)と共に、リバティのヴァイス・プレジデントを務めます。

リバティ・アライアンス・プロジェクトについて

リバティ・アライアンス・プロジェクト(www.projectliberty.org) は、世界中から 150 以上の企業・団体が参加している非営利・非政府の組織です。コンソーシアムの目的は、既存および新規のあらゆるネットワークデバイスをサポートする連携ネットワークアイデンティティのオープン・スタンダードを開発することです。連携アイデンティティは、企業、政府機関、従業員、および一般の消費者に今日のデジタル社会におけるアイデンティティ情報をコントロールするより便利で安全な方法を提供するとともに、Web ベースのサービスは言うまでもなく、電子商取引、個人データサービスの利用を促進する重要な要素です。メンバーシップはすべての営利団体および非営利団体に開かれています。

本文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

このプレスリリースに関するお問い合わせは下記へお願い致します

■ 株式会社 井之上パブリックリレーションズ

リバティ・アライアンス 広報担当 本田／リットウイン／鈴木

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-34 新宿御苑前アネックスビル6F

TEL : 03-5269-2301 / FAX : 03-5269-2305 E-mail : liberty@inoue-pr.com